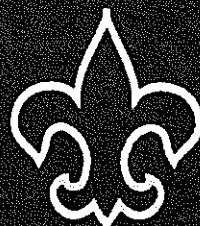


REINANZAKA SCOUT CLUB



スカウトOB・OGの情報交換や交流の場 / 2002年10月5日発行

霊南坂スカウトクラブ

霊南坂スカウトクラブ：霊南坂教会内 107-0052 東京都港区赤坂1-14-3 電話：03-3583-0403

祝 霊南坂スカウト55周年

式典・二次会

去る4月29日(月)に霊南坂教会において、霊南坂スカウト発足55周年記念式典が開催されました。

多くのOB、OGの方にお集まりいただきました。式典には75名の方々が、またパストラルにおいて開かれた二次会はOB、OG、現役が会して58名・盛会のうちに散会いたしました。

この55周年記念式典には、アメリカからOBの安積発也氏、OGの太田直枝夫妻が参加されました。

歴史は続く

ボーイ隊

小林嵩英

4月29日、スカウト活動が霊南坂教会に伝えられてから55年となったことで記念式典が行われました。僕は結構霊南坂教会に馴染みがあるつもりなのですが、霊南坂スカウトの歴史に比べたら話にもなりません。圧倒されます。

僕はこの式典で旗手の仕事をしました。最初に旗手をやるように言われた時は「何だ旗持か」とその



時は軽く愚痴っぽく軽い気持ちでリハーサルに臨みました。

軽い気持ちで臨んだ僕が甘かったです。「旗の角度はこう、手の位置はこう、順番は、歩き方…」と細かく至る所まで指導が行きとどきました。

「ああ、疲れる」と思いたくなりましたが、旗手には年下のビーバースカウトやカブスカウトなども参加していたので「自分がしっかりしなくちゃ。年下に示しがつかない」と思い、自分に気合を入れ直しました。ちょっと気合を入れ過ぎたのか、緊張して自分の手足の動きがとてもしこちなく動く事がチラホラ…。

いよいよ本番、手足もしっかり

と動き、僕の仕事はこうして終わりました。記念式典が終わると、3階で茶話会が行われました。

茶話会の入り口にはくじ引きのようなことをやっていた。どうやらこれをやらないと会場の中には入れないみたいなのでくじを引きました。最初は抽選か何かをするのかと思い、k時を開くとそこには国の国旗が1つ書いてありました。

「これはなんですか？」と入り口の人に聞いてみると「その国旗の置いてある机に行って下さい」と言われ、言われた通りにその旗の置いてある机に行ってみると、僕と同じ旗を持った人達がその机に集まっていた。なるほど、これは



結構おもしろいなあ。以前の食事会などでは同じ団体ごとで食事をする事がほとんどだったので、他の団体との交流はほとんどありませんでした。なので今回の茶話会では同じテーブルを囲んで交流が深められたと思います。

今回僕にはもう一つの役目がありました。それは「モデル」です。モデルといってもそんなに大それたこと

ではなく、昔のボーイ隊の制服を着てみんなの前で見せるだけでした。

昔の制服は思っていたよりも着心地が良く、帽子も今のボーイ隊の持っているグリーンベレーではなく、かっこいいウェスタン風(?)の帽子でした。ズボンが半ズボンだったのは少し嫌だったけれども、それ以外は結構僕は気に入

りました。

今回55周年に記念行事に参加して、霊南坂スカウトの歴史を知りました。また、そのスカウトを支えている霊南坂教会の歴史も知りました。

これからも霊南坂スカウトの歴史が60年、70年と続いて欲しいです。

式典を通じて

ガールスカウト・シニア

リーダー 来代なつき

リーダーになったばかりの四月にいきなりやってきた大きな行事、55周年式典。この大事な行事での司会を私が務めることに決まったのは、まだリーダーにフライアップする前のことでした。

司会なんて台本を読むだけだし…。そんな軽い気持ちで引き受けてしまいましたが、台本を読むだけとはいえ、やはり実際は大きな責任やプレッシャーを感じる仕事。リーダーになって初めての仕事は、私には大きすぎるような仕事でした。

私がリーダーになる前から話し合いが進められていた実行委員会に参加していくことで、式典における知識というものが殆どなく、自分で仕事を見つけて自主的に働くということがなかなかできない

55周年記念マグカップのデザイン;オリジナルデザインは田中楨子さん。(了承を得て、修正を関口教夫氏が行ったものです。) 下:修正分

私も、この式典の重さというものをひしひしと感じました。率先して働くことができないことに引け目を感じながら、とくかく言われたこと、任されたことは責任をもって処理し、足を引っ張ることのないように心がけました。

失敗のないよう何度も繰り返され



The 55th Anniversary Reinanzaka Boy Scouts & Girl Scouts



The 55th Anniversary Reinanzaka Boy Scouts & Girl Scouts 2002.4.29

るリハーサルや打ち合わせの中、いい式典にしよう、成功させようという実行委員の方々の気持ちを感じ、その気持ちを無駄にすることなく、安心して司会進行を見守っていただけよう、責任をもってこの大きな役目に臨もうと思い、気が引き締まりました。

式典当日、足を引っ張らないように心がけていたにも関わらず、私は少し遅刻してしまい、実行委員の方々に迷惑をかけてしまいました。

しかし、式典は幾度も重ねたリハーサルの甲斐あってスムーズに進み、私も大きな役目を終えることが

できたように思います。

この55周年記念式典を通して、多くの方々が多くの時間を費やして、やっと一つの行事が成功するというのを改めて実感しました。リーダーになったばかりで、ほぼ何もわからない私が、司会という仕事を務めあげることができるのかという不安もありましたが、このような大きな行事で司会を務めることができたことを、大変嬉しく思います。みじゅくながらもこの大役をとめたこの度胸を、今後のガールスカウト活動に生かしていけたら、と思います。

さて、今年は初めての試みで都市型ジャンボリーという形で大阪港の中にある人工島舞洲で開催しました。あのUSJの奥にあります。イメージとしては東京のお台場地区のような埋め立て地で木など何もないところですが、そこに、いつもの半分の2万人のスカウトが集まりました。プログラムもいつもとは違う都市型プログラムで、大阪の町を見学したり奈良や琵琶湖へ行って自然を体験したり郷土芸能を見学するなどのプログラムでした。毎日35度を超す猛暑のなかでスカウトたちは水分をたっぷりとりながら元気に8日間を過ごしました。

出発前は心配だった小学6年生も帰ってきたときには、たくましくなっていました。「またジャンボリーに行きたいか？」との問いに全員が「いきたい」と帰ってくる楽しいジャンボリーとなりました。最後に、1団としては、港地区7隊の中で12名の参加、参加できなかったのはスケジュールの関係で3名だけという状況であり、ほぼ全員の参加ということです。この勢いでボーイ隊は活動を進めていきます。

日本ジャンボリー参加

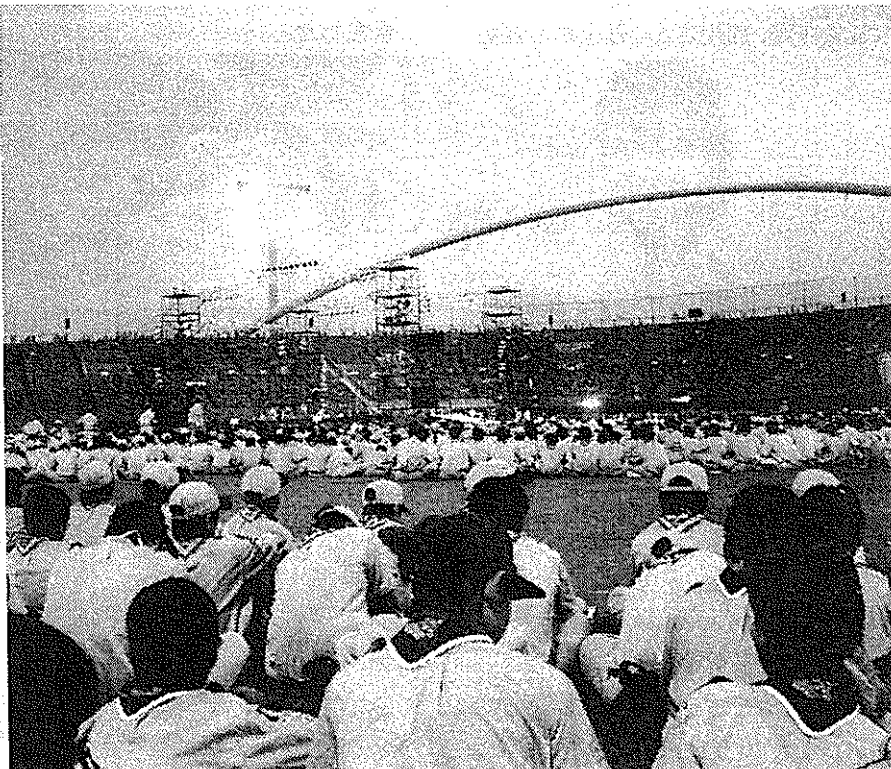
ボーイ隊隊長
小崎 公平

今年は4年に1度の日本ジャンボリーの年です。もちろん我が港1団も参加しました。

さて、ジャンボリーの報告の前に現在の状況を報告しなければなりません。昔はジャンボリーといえば、地区からの選抜メンバーで構成された物ですが現在はスカウトの数も減り港地区は東京26地区の中でも下

から数番目の弱小地区となってしまいました。

しかし、それでも東京連盟から1個隊の派遣枠を割り当てられスカウト35名リーダー5名の派遣隊を編成することになりました。派遣隊長は、ボーイ担当コミッショナーである私が拝命し、派遣隊スカウトの選抜が行われました。35名のスカウト枠を各隊で割り振りを行い1団は12名のスカウト枠を獲得しました。

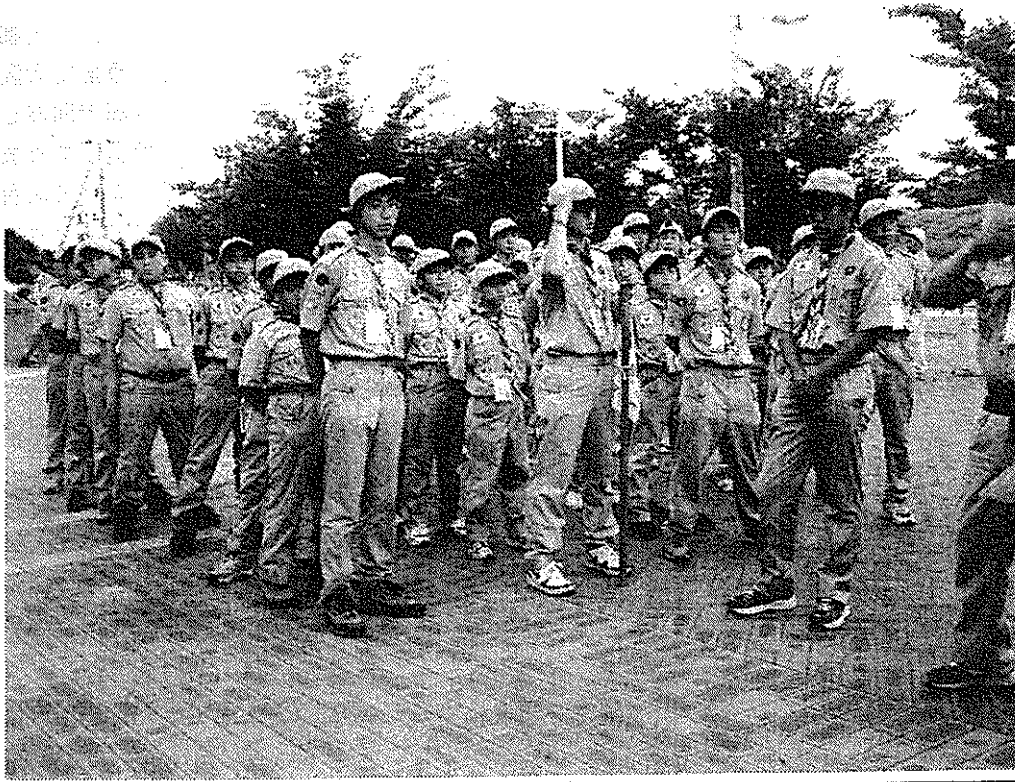


X'mas 忘年会

次回の会報で詳しい内容を掲載します。OB、OGのおお現役、スカウトの父母も含めた親睦を深める会合です。

日時：12月7日（土）
18時30分～20時30分
会場：虎ノ門パストラル
8階しらかばの間
会費：5000円

集会などで歌った懐かしい歌やゲームなどをご一緒に！



ガールスカウト合同キャンプ

ガールスカウト
リーダー 矢澤宏子

7月26日から29日、山梨県山中湖村営キャンプ場にて発団55周年を記念して全部門合同のキャンプをしました。

山中湖畔にありながら、サイトは緑に囲まれ、一区画を借り切って自由にテントサイトを作り、他のキャ

ンパーは少なく安全も確保され、青い空と木々と風、鳥のさえずりを感じながら過ごすことができました。

スカウトは、ブラウニー14人、ジュニア13人、シニア6人、レンジャー2人の35名。リーダー16人。ヘルプとしてBS大槻さん、OG矢島さん、西川さん、教会から西脇

伝道師が参加されました。

ブラウニーは自炊のため、スカウトクラブの西川さん、矢島さんにお手伝いをいただき、カレー、焼そば、フレンチトーストなどを三食とも野外での食事となり、最初はビックリのスカウト達もおいしい空気といっしょに食欲もわきました。





ジュニアは参加者のうち、半分は初めての野外キャンプ訓練してきたもののリーダー達は少々ビクビク。でも心配したこともなく、歌をうたいながら設営、夕食も明るいうちに（これはひとえに大槻さん、西脇先生のご協力によるものです）できました。

シニアになれば、さすがに行動もすばやく、竹のテーブルのクラブも出来上がり（ちょっとグラグラときしみましたが…）、2日目にはアドベンチャー・ツアー（樹海内の洞窟探検、勿論地元の方の案内による）を楽しみました。

レンジャーはスカウトが3日目からの参加のため、リーダーは2日間リーダーテントサイトの用事

と他部門の手伝い、そして3日目は、全部門合同のプログラム縦割り朝から夜のキャンプファイアーまで、野営場内を道しるべをたよりに宝さがし（昼の食材さがし）あり、自然のクイズありと、お姉さんスカウトをたよりにお互い助け合いながら、キャンプファイアーではそのまとまりを発揮して楽しみました。

何より指導の立場であるリーダー達がまとまり、そして楽しくキャンプできたことは、西脇先生、大槻さん、西川さん、矢島さんのご協力と見守っていただいた方々によるものと思います。心よりの感謝を申し上げます。

骨董屋さんのお仕事

永山 茂樹

私達の職業を聞くと、ほとんどの人がまったく縁が無いと言いますが、本当にそうでしょうか？「骨董なんて持ってないし、買う予定も無ければ趣味も無い。」骨董屋さんの仕事って、骨董品を売ったり買ったりするだけなのでしょうかね？

それだけでは全然終わらないのが私達の仕事です。お客様に商品が売れば、その商品に対してのメンテナンス等その商品が有る限り

最後まで責任を持ってお世話をします。これも大事な仕事です。時にはその商品を飾ったり、その蔵や倉庫の掃除をしたり……

早い話が、雑用係りです。でもこの仕事を怠ると、大切な商品が痛んでしまいます。地味ですが、一番大事な仕事です。さあ、今日はもう1つ皆さんには見えにくい仕事の方を御紹介しましょう。（でもこれは、骨董屋さん全員がやるとは限りません）皆さんが引越しや改

築をなさる時、かなりの量の不用品が出ると思います。

それをどうしていますか？大型ゴミとして、又は業者に頼んで処理していますよね。

その量を少しでも減らす方法の1つとして骨董屋さんを利用する（他にも色々な業種が有りますけどね）そんなこと考えた事有りますか？

今ここで詳しい説明を付けるのは非常に難しいですが、是非相談して見てください。

今までに無い驚きと喜びがあるかもしれませんよ。

その様な時は、遠慮無くご連絡下さい。

<http://homepage2.nifty.com/onkodou/>

ビーバーの キャンプ

ビーバー隊

リーダー 清水 康輝

ビーバー・カブは、今年ビーバー隊発足15周年を記念して団キャンプとして団委員・ボーイ隊スカウトと共にキャンプを行いました。日程は、ビーバーが7月27～28日カブが26～28日でした。キャンプ地は、福島県福島市の吾妻高原スターハントユースホテル参加人数は、ビーバーが団委員1名・リーダー5名・スカウト8名カブが団委員1名・リーダー9名・デンコーチ2名（ボーイ隊より）保護者1名・スカウト17名でした。

行きは、ビーバーが、新幹線。カブは、教会よりバスにて出発し帰りは、ビーバー・カブ共に1台のバスで元気に帰って来ました。カブ隊の吾妻小富士の釜巡りは、肝試しよりスリルが有った様です。そして、あんなに沢山のトンボを見たのはきっと、皆初めてだったと思います。

杉原正さん受章

— 藍綬褒章 —

永年にわたるスカウト活動、東京連盟、日本連盟における役員等、青少年育成など幅広い活動が高く評価され顕彰されたとのことです。

6月29日(土)午後5時~7時、東京全日空ホテルにて「受賞を祝う会」が開かれました。発起人には

永年ボーイスカウトの同志をはじめ、霊南坂スカウトクラブからも参加し、参会者350人を迎え、盛会におわることが出来ました。

良き先輩を得て、現役の皆さんが4団の継続に力を尽くされる事を希望して止みません。



アフガニスタン 救援物資

今回、多くのご協力、ご助言をいただき本当にありがとうございました。お持ちいただいたお品物の多くは清潔で傷みのすくないものであった事。お預かりした全てのお品物を洗って送ったこと。そして、2000点に近い洋服が捨てられずに大切にされた事。日頃洋服を扱うものとして何より嬉しく思いました。

集められた救援物資は第二陣として40フィートコンテナ15個分になりました。コンテナは商船三井の船に搭載、昨年末29日に出航。シンガポール港で積み替え、カラチ港到着は1月23日。2月の第1週までにアフガニスタン難民キャンプに届いているはずですが。

大塚モスクのスタッフが1月の22日に成田を発って衣類の配付を行いました。主たる目的は救援衣類の到着、配付の確認や受け取り側の臨んでいる衣類についての調査です。

途中、予想外に入荷が集中し、多くの皆様の善意をお断りすることになりましたことをこの場をお借りして改めてお詫び申し上げます。

多くのご協力をいただきありがとうございました。

【内訳】

◎ カンパ金合計 131,425円

◎ 送付物資内訳

セーター 669枚
コート 453枚
毛布 123枚
子供服 90リットル袋 x 4個

● 支出内訳

輸送費	85,710円
経費内訳	
レンタカー	14,847円
ごみ袋	7,366円
ガムテープ	2,310円
余り(寄付)	21,192円

<注>このプロジェクトは戸田クリナーズ(霊南坂スカウトクラブの戸田健次郎氏)が企業ボランティアとして行った活動の報告書から転載したものです。



アフガンにスカウトを

スカウトクラブ

渡辺 澄

【プロジェクト経過報告】

8月29日現在でのプロジェクトメンバーは以下の通り。(敬称略) 葛西瑛子、木村恵子、西郷崇子、田中新二、永橋牧子、渡辺澄。

4月24日：第1回会合(於：霊南坂教会)、6月5日：第2回会合(木村恵子邸)、7月3日：第3回会合(四谷 瓢箪)、7月12日：ユニセフ現地事務所長ユリック・ラロシュ博士の講演「ユニセフ アフガニスタン現状報告」に出席。7月30日：国際協力NGOセンター訪問、8月7日：第4回会合(木村

邸)。

上記の会合を通して得られた情報を検討し、手がかりを掴もうとしている。

葛西瑛子さんの情報により、静岡県で医者として在日30年というアフガニスタン人レシャードさんがいること。現在アフガニスタンの復興、とりわけ子供たちの救済運動をすすめていることを知り、面談を申し込むが、先方が多忙で未だ実現していない。

日本にいる留学生の中にアフガニスタン人の学生がいないかと調査したが、いないことが判明した。国際協力NGOセンターでは数多

くのNGOが登録されており、その中でアフガニスタンに関わっている団体は30以上あり、いずれも現地に拠点を持ち、人を派遣していることがわかったが、我々の活動目的に役立つような情報は得られなかった。

【今後の方針】

活動の核となる拠点などの団体に目標を定め、その中から人材を得ること。

そのために、ユニセフ、国連難民高等弁務官事務所、日本連盟、世界連盟などと積極的に連絡をもち、具体的な活動に結び付けてゆく。

一方、土台となる霊南坂教会、団委員、現役スカウトとの意志疎通と、運動への積極的な参加を求め努力をしたい。

計 報

丸山万里子さん(旧姓・田中)が6月14日に紙に召されました。ブラウニーの時の愛らしい万里ちゃんお姿が忘れられません。在籍(昭和31年~41年)長い長い闘病生活でしたが、優しく明るくどれだけ周囲の方たちを勇気づけたことでしょうか。残された姉君・木村恵子さん、ご家族に神様の深い慈愛がありますようお祈りします。



バザーの お願い

例年のようにバザーのシーズンとなりました。下記の日程で開催されます。港区区民まつりでのバザーの売り上げは4団の活動にかかせない収入源です。また、教会のバザーは常日頃会場を提供してくださる教会への奉仕、また教会員の方々へスカウトのOB、OGの活動を知っていただく、良い機会です。ご協力ください。

■港区区民まつり

10月12日(土) 手伝い

12:00~16:00

10月13日(日) 手伝い

10:00~15:00

■教会バザー

10月26日(土) 10:00~

前日の3階から地下への荷物運びの奉仕もお願いします。

※いずれもバザーへの献品物は矢澤宏子宅へ送付をお願いします。

送付先： 東京都中央区八丁堀
3-4-7

Tel: 03-3555-3675

※お手伝いは1時間でも1日でもかまいません。こちらの連絡先は塚田洋子まで

TEL/FAX: 0424-61-1075

e-mail:

tsukako@themis.ocn.ne.jp

住所変更など お知らせの お願い

前回、皆様に会員およびOB、OGなどの方々の住所録をお渡ししてからかなりの年月が経っていますので、この度新しく名簿を作成致しますので、住所変更などをされた方、またOB、OGで住所変更をされた方などをご存知の場合は幹事までご連絡ください。

会員登録されている、いないに関わらず名簿には掲載することとしています。また、会報も毎回送付は行わないこともありますが、毎年1~2度は、非会員の方々へも送付していますので、霊南坂スカウトとして在籍していた方々についてご存知の場合は、是非ご連絡ください。

リバリスランド — 撮影用食器が格安 —

東横線の代官山駅から徒歩1分のところで、撮影用テーブルウェアのレンタルショップ「リバリスランド」を夫婦で経営しているのは、ボーイスカウトOBの河内潔。

テレビの料理番組をはじめ、雑誌やCM、広告写真などで使われている食器、テーブルクロスなどの布類、カトラリー（フォーク、ヤナイフ、スプーン等）、銀器などの貸し出しが主な業務です。

利用者はスタイリスト、テーブルコーディネーター、フードコーディネーター、カメラマン、デザイナーなどの人達が中心になっています。

以前は、年に1度の在庫処分セールを行っていましたが、店内をちょっと改装して、在庫処分コーナーと陶芸家や工芸作家などの展示即売を行うミニギャラリーを常設しました。

一流ブランドの食器（レイノー、モラン、イッタラ、カルロモレッティー等々）を市価の7割から半値以下で販売しています。撮影用に使用が限定されているため、ほとんどが新品と同じ状態。モノによってはまったく使われなかったものもあります。

洋食器、和食器、ガラス類、花器などのいろいろな商品が小さなコーナー



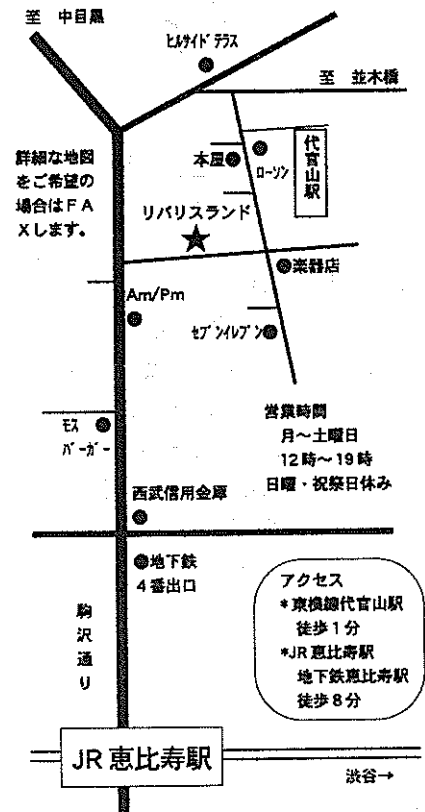
に展示販売されています。中には日本未発売のものや、欧米作家の1点ものもあります。種類は多いのですが、一般の陶磁器販売店のように、同じものを数多く揃えていないので売り切り限定早いもの勝ちなのです。掘り出し物を見つけに、時々覗いてみるのが得するコツ。11月にはクリスマス、正月関係の商品を販売する予定。季節感を大切にしたいと思っています。

10～11月の陶芸家・工芸家コーナーは、小石原焼（九州・福岡）の作家・太田秀隆。彼の作品は西日本周辺にコレクターが多く、東京では出回っていません。友人関係で作品を入手したもので、伝統の技と一味違う、ベテランらしい風格と斬新さを持った作風が魅力です。総理大臣賞など数々の賞を受けている実力派でもあります。

電話：03-3464-7933

東京都渋谷区恵比寿西1-33-3

光雲閣3階303号室（エレベータ前）



お店やビジネス紹介を！

このような形で紹介しますので、OG、OBなどでお店やビジネス、面白いサービスなどを行っている場合は自薦、他薦を問わずですでお知らせください。

以前にもOG、OBなどのお店を紹介してきましたが、それを続けていきたいと思っています。文章を面白く書き直しを希望の場合は、倉持雅人宛FAX:03-3953-0228へ送付してください。

堅めの文章をご希望の場合は、河内宛 FAX:03-3464-8276。

また、書いた原稿そのままの掲載をご希望の場合も河内宛です。

意見・寄稿を募集中

広く皆様のご意見や寄稿を募集しています。ビジネスに役立つ情報交換を希望される方からのものも掲載していきますので共有できる情報を下記の幹事宛に送付ください。

編集後記

4月29日には霊南坂スカウトが発足してから55周年の式典が行われました。今回は主にキャンプの記録を掲載しました。現役スカウト達が一番楽しい時期です。バザー等もあります。ご協力をお願い致します。

霊南坂スカウトクラブ連絡先

入会申込・移転連絡等：

(郵便) 107-0062 東京都港区南青山7-11-5 日下部 宛
(ファックス) 03-3400-0399 (電話) 03-3400-0331

イベント・各種問合せ：

(郵便) 105-0001 東京都港区虎ノ門2-4-2 永山 宛
(ファックス) 03-3431-0192 (電話) 03-3431-0011
(E-mail) shige827@fsf6.so-net.ne.jp

会費・ご寄付等：

(郵便) 105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 杉原 宛
(電話/ファックス) 03-3501-3998
郵便局振込口座番号：霊南坂スカウトクラブ
00160-1-615237

通信・ご意見等：

(郵便) 150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-33-3-303 河内 宛
(ファックス) 03-3464-8276 (電話) 090-4919-2941